労働安全衛生マネジメントシステム

2020年度より労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)を導入し、2022年度に国際規格となるISO45001認証取得を代表工場でめざしています。外部・内部の課題・働く人および利害関係者の要求事項をうけてリスクと機会を抽出し、アイシンの2022年度安全衛生計画に反映し目標達成に向けた活動をしています。またその活動結果、その他変動要因を踏まえ、マネジメントレビューを実施し、翌年度に向けた方向性を明確にし、活動のレベルアップを図っています。

これらの施策により2021年度のグループの労働災害は減少傾向を維持しています。しかし依然として災害が発生しており、グループで類似災害防止対策に取り組み「世界一安全な企業グループ」をめざしています。

組織の状況の把握

外部および内部の課題(箇条4.1)

働く人および利害関係者の要求事項(箇条4.2)

リスクと機会の特定

リスク
- 類災防止対策展開およびフォローアップ不足による災害の再発リスク
- 火災によるサプライチェーンへの影響(生産停止リスク)
- OSHMSを推進できる人材不足による管理の不備

機会
- グループでの災害情報共有活動によるレベルアップ
- 火災の発生源対策によるリスクの顕在化の機会
- 客先からのOSHMS(プロセスKPI)のレベルアップ要求

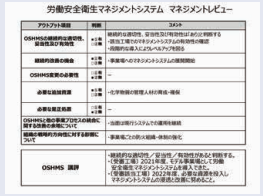
重点実施事項の立案

2022年度重点実施事項
- 類災防止に向けた維持改善活動およびハイリスク作業(挟まれ、車両、重量物)へのリスク低減対応
- 不要な可燃物除去活動の継続と基本4行動の実践および防火に精通したプロ人材の育成
- OSHMSの導入推進活動(モデル事業場のISO45001認証取得推進

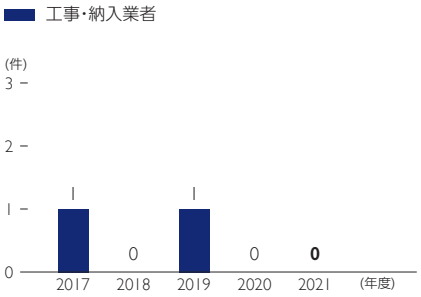
マネジメントレビューの実施

マネジメントレビュー
(箇条9.3)

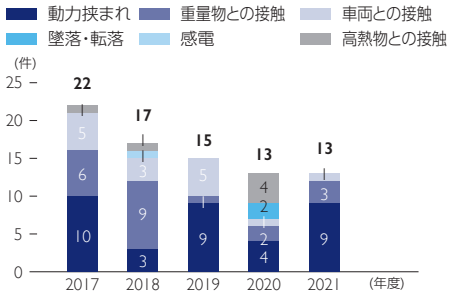
※ トップの参画する安全衛生委員会でマネジメントレビューを実施


労働安全衛生マネジメントシステム マネジメントレビュー

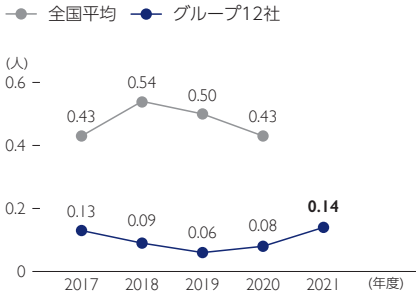
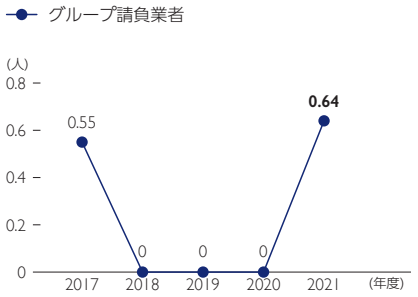
重大災害発生状況(グループ全体)



STOP6休業発生状況(グループ全体)



労働災害休業度数率(グループ12社)



労働災害休業度数率(グループ請負業者)